

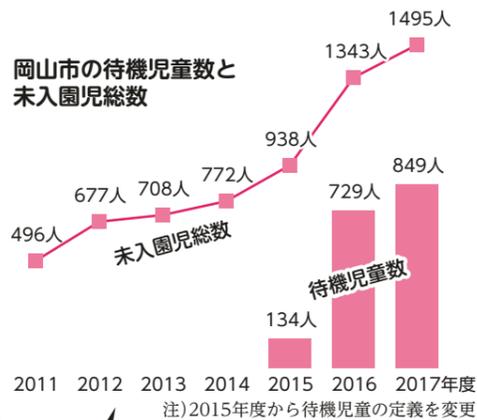
待機児の解消は市立園の活用を

岡山市の待機児童数は、4月時点で849人でした。全国で2番目の多さです。未入園児も1,495人で、過去最高となりました。

市は、保育の確保量を2019年度までに約3,000人分増やす計画の上方修正を行い、今年度は1,500人分を整備するとしました。その中で市長は、昨年国で導入された「企業主導型保育」という、自治体が関与出来ない、基準の低い認可外保育を推奨するとしています。党市議団は、現地視察を踏まえ定員や保育士配置の基準が守られていない可能性を指摘しましたが、市は実態を把握すらしていませんでした。

また、122あった市立保育園と市立幼稚園を30のこども園に集約し、残りを民営化・廃止する方針は変更していません。

待機児解消は、保育士確保と認可保育園の増設で行うべきであり、公立園の活用こそ最優先で取り組むべきです。



待機児童は増える一方なのに市立幼保122園を30園に?!

民営化・廃止の対象

(2017年4月時点)

- | 北 区 | 中 区 |
|---|--|
| 幼 吉備西、吉備東、鹿田、大元、石井、三門、大野、岡山中央、牧石、御野、馬屋上、横井、平津、桃丘、馬屋下、足守、鯉山、加茂
保 清輝、三門、津島、牟佐、伊島、富原、横井、御津南、宇垣、福渡、福渡第二、竹枝、緑、庄内、吉備津、大井 | 幼 三敷、宇野、高島、旭竜、旭東、平井、竜之口、幡多 or 財田、富山、操南 or 旭操、操明
保 浜、平井、財田、乙多見、神下 |
| 南 区 | 東 区 |
| 幼 福田、浦安 or 芳泉、芳明 or 芳田、平福、福浜、小串
保 曾根、東睦、興除東、都、六区、彦崎、七区、小串、南輝 | 幼 江西、芥子山 or 可知、古都、幸島、大宮、朝日、角山、御休、浮田 or 平島、開成、政田、西大寺南、西大寺、豊、雄神
保 万富、可知、宿毛、豊、金岡 |
- orはどちらかの園が対象



編集後記

東京都議選で日本共産党は2議席増の19議席を獲得、得票数も率も増やしました。自民党は歴史的大敗、安倍政権に厳しい審判です。世界を見ると、7月7日に国連で核兵器禁止条約が122カ国の賛成で採択されました。日本政府が参加しない一方で、被爆者の方々の始めとする多くの人たちの運動が国際政治を動かしています。

岡山市政は、議決を無視して辞表を出さない議長、反対意見に恫喝する市長、質問時間短縮に躍起になる議員など、市民おきざりの政治です。秋の市長選・市議補選はチャンスです。みんなで政治を変えましょう。



日程

8月定例市議会	8/30~9/15
常任委員会	8/28(月)
個人質問	9/ 5(火)~11(月)
常任委員会	9/12(火)
請願・陳情締め切り	9/ 4(月)
市政報告会	7/15(土) 10:00~ 東公民館 7/16(日) 10:00~ 高島公民館
市民の意見を聴く会	8/18(金) 13:30~ 市議会内
市長選挙	9/17(日)告示
中区市議補選(定数1)	10/1(日)投票 9/22(金)告示



議案・陳情に対する各会派の態度

全61議案のうち3件に反対し、2陳情の採択を求めました

議案・陳情		共	自	公	創	ネ	結果
議案	マイナンバーの利用拡大	×	○	○	○	△	○
	企業主導型保育を税制で優遇	×	○	○	○	△	○
陳情	伊島幼稚園・保育園をこども園化する改築工事	×	○	○	○	○	○
	国民の権利と安心・安全を守る公務公共サービスの拡充を求める陳情	○	×	×	×	○	×
	農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情	○	×	×	×	○	×

○=賛成・採択、×=反対・不採択、△=一部賛成
共=共産、自=自民、公=公明 創=創政会、ネ=市民ネット



就学援助の充実

就学援助制度の入学準備金が2倍近くに増額されました。また、支給時期について入学前の2月頃に前倒しできるよう検討が始まりました。

通学区域弾力化 やっと廃止

来年度から小学校の通学区域弾力化が廃止されます。この制度で小規模校の児童減少が深刻化しました。中学校では存続します。

介護保険 増える利用料と保険料

第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けての議論が始まりました。10月に骨子案が発表された後、市民からの意見募集を行う予定です。

課題は山積みです。国の法改悪の結果、介護サービスの利用料が3割になる方が岡山市では約1,000人です。来年度からの保険料値上げも計画に盛り込まれます。また、軽度者切り捨ての総合事業は止めるべきです。利用者や事業者のみなさんの声をお寄せください。

国民健康保険 市長が値上げを示唆

2018年度から国保の運営が市から県に移ります。他県の保険料試算では値上げとなり、岡山県でも値上げが懸念されます。さらに市長は、市独自の財政繰入を解消・削減していくと表明しました。岡山市民にとって大幅負担増になりかねません。

市独自の財政繰入は今後も可能で、保険料額を決めるのは市です。市民の運動は10年間値上げを阻止してきました。国保料引き上げ容認の市長でいいのかが問われます。

新しい斎場の整備 重複見直せ 過大な計画

瀬戸内市は岡山市と2炉ずつ計4炉の新火葬場を18.8億円で作る計画を発表しました。この他に岡山市は、東山14炉、富吉12炉とし、西大寺は廃止する計画です。岡山市の死亡者はピークで9,195人で、近隣の市町からの利用を加え、10,083件としています。その中には瀬戸内市民の分も含まれており、両市で二重に数えられています。少なくとも1炉は縮小できます。

西大寺からの距離は瀬戸内市の新火葬場より東山の方が近く、岡山市民の利用は未知数です。岡山市の斎場計画は見直す必要があります。

1炉分がムダ

